

# 市議会だより

# GOJO

No.65

発行 五條市議会 編集 議会広報編集委員会  
平成29年(2017年)11月1日



## 乾十郎顕彰碑

※乾十郎は、代官所襲撃から櫻井寺に本陣を置く手はずを整えたと言われている五條出身の医師で、天誅組には軍医として参加しました。顕彰碑は須恵にあります。

## 五條市議会第3回9月定例会の概要

平成29年第3回9月定例会は、9月1日に開会、会期を26日までの26日間と決定し、初日に市長から市政報告と提出議案の説明並びに教育長から教育委員会の点検評価報告を受けました。

本定例会には、五條市いじめ問題対策連絡協議会等条例の制定、平成28年度各会計歳入歳出の決算認定、五條市農業委員会委員の任命同意などの重要案件が市長から提案されました。

また、議会からは、受動喫煙防止対策を進めるために健康増進法の改正を求める意見書や「全国森林環境税」の創設に関する意見書などを提出し、それぞれ慎重審議を行うとともに、9名の議員が一般質問を行い、9月25日に閉会いたしました。

## 目次

一般質問	2～10ページ
総務文教常任委員会の報告	11ページ
厚生建設常任委員会の報告	12ページ
決算審査特別委員会の報告	13ページ
表決結果と議決結果	14・15ページ
意見書	15ページ
議長交際費・編集後記など	16ページ

## 五條市



市制施行60周年

輝く未来へ、ともに進もう!

定例会では、議案に関係なく市の一般事務について質問することができます。これを一般質問といい、以下質問順にその概要をまとめています。



平岡清司議員

Q: 「五條市版総合戦略」策定後の取組状況は

A: 各部局において重点施策に基づき取り組んでいる。

五條市版総合戦略の進捗について

平岡 平成27年10月に「五條市版総合戦略」が策定されて、「①子どもを育てたいまちをつくる、②安心して定住できる都市をつくる、③地域資源で新たな産業をつくる、④地域ブランドを確立し、ひとの流れをつくる」の4点を重点施策として掲げている。計画期間は5年で、ちょうど半分が経過したが、今までの取組について尋ねる。

市長公室長 市内外の有識者等により総合戦略推進懇話会を設置し本市の総合戦略を策定した。各部局において重点施策に基づき担当事業に取り組んでいる。  
平岡 4点の重点施策は、「若い世代、子どもを産み育てる世代を増加させる」、「地域内で暮らすための経

済・産業基盤を充実させる」という市の基本姿勢を現実のものにするために取り組まれる施策だと思うが、現在の取組状況はどうかっているのか。

市長公室長 各部局のそれぞれの取組については、本年6月に懇話会メンバーを委員とした事業評価会議でそれぞれ評価を受け、一部見直しなどの指摘をいただいたところである。



平岡 近年、児童虐待や貧困問題など子供を取り巻く諸問題がマスコミで大きく

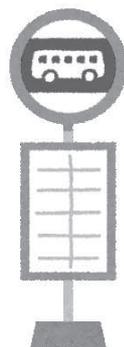
取り上げられている。安心して子供を産み育てる環境は親にとっては何物にも代えがたい。ハード・ソフト両面で若い世代や子供を産み育てる世代をはじめ、五條に住み続ける人たちを支援するような、具体的に、効果的な取組を積極的に押し進めることを強く要望する。

地域の実情に合った地域公共交通について

平岡 デマンドバスが走っておらず、奈良交通の路線バスを利用して病院などに行かざるを得ない地区がある。また、デマンドバスも奈良交通の路線バスも走っていない「公共交通空白地帯」もある。現在の公共交通のルートにさらに新ルートを加えることは、財政的にもなかなか難しい。そこで地域の人たちの理解と協力を得て、新しく「公共交通空白地有償運送」に取り組む検討をすべきでは。

市長公室長 「公共交通空白地有償運送」を実施するためには、運営協議会の了解を得る必要があるなど課題がある。

平岡 事業を行った場合のメリット・デメリットを丁寧に地域に説明し、地域や関係機関の理解・協力を得て、是非進めてほしい。また、少しでも市民の皆様が喜ぶような取組を現実のものにしてほしい。



その他の質問事項

- 健康増進施設を利用する市民への助成について
- 健康増進施設の現状について
- 市民に対する助成制度について
- 五條市福祉タクシー基本料金助成事業について
- 助成の範囲について
- 今後について



山口耕司議員

## Q: 空き家対策の取組について

A: 空き家バンク全国版の登録を検討し、住宅セーフティネットの活用などについて協議してまいる。

### 五條市における財政について

**山口** 平成27年度末五條市の借金（市債）の残高は、361億円で、市民1人あたり約109万円、平成26年度末より約3万円増加している。今後、本市において新庁舎を始めとする多くの事業の計画がされている。これからの重要事業計画と財源について尋ねる。

**総務部長** 平成30年度から5箇年での予定事業は、①新庁舎建設②ゴミ中継所施設新築③花咲寮整備④新庁舎周辺道路改良等であり、財源は、国・県の補助金や過疎債、合併特例債を見込んでいます。

**山口** 多くの市では、財政基本条例を制定、中長期試算を策定し公表しているが、本市の一般会計における中長期財政試算についての取組を尋ねる。

**市長** 現在単年度では市民に公表しているが、中長期は、内部的な試算のみである。今後公開ができるよう

に取り組んでまいりたい。

### 市民に分かりやすい公会計制度導入について

**山口** 平成27年9月議会では、調査・研究し、確立をしてみたいとの答弁であったが、現在の取組の状況について尋ねる。

**総務部長** 総務省の「基準モデル」から「統一的な基準」への再整備を行った。今後、平成30年3月末の公表に向け作業を進めている。

また、公会計の理解のため、過去4回の研修会に職員を派遣し、今後職員にも複式簿記等の研修を行いコスト意識の醸成に努める。

**山口** 固定資産台帳は、財務書類作成のための基礎資料であり、施設別のコスト分析といった公共施設等のマネジメントにも活用可能となるが、固定資産台帳の活用について尋ねる。

**総務部長** 昨年度より庁内で情報の提供を行い、次年

度より予定する事業別予算との連動や、財政見直しにも取り組んでまいりたい。

**山口** 公会計制度の今後の取組について、どのような計画及び体制で行うのか尋ねる。

**総務部長** 平成28年度決算に基づく財務諸表の公表に向け検証中で、市民に分かりやすい手法を考察してまいりたい。

### 空き家対策の実態と現在の取組について

**山口** 隣家が空き家になり年数が経過し、樹木が生茂って困るとの相談を受けたが、空き家対策の実態と現在の取組について尋ねる。

**都市整備部長** 実態調査の結果、空き家数1,166件、小規模な修繕で利用可能物件137件、切迫した危険家屋41件である。NPO法人で利用支援を行い、空き家への移住成立は、1件2名である。

**山口** 国土交通省では、自治体運営の「空き家・空き地バンク」を集約し、「全国版」

のサイトが一部スタートするが、利用希望者が全国の物件をワンストップ（1箇所）で検索、条件に見合った入居先を見つけやすくする空き家バンク「全国版」との連携について尋ねる。

**都市整備部長** 全国版の登録については、検討を行う。

**山口** 住宅確保が困難な低所得の高齢者や障害者、子育て世帯等のために、空き家・空き室を活用して住まいを提供する新たな住宅セーフティネット（安全網）制度が10月からスタートするが、高齢者らの住宅セーフティネットの活用について、市の考え方を問う。

**都市整備部長** 国や県、関係部署と協議し、対応してまいります。

その他の質問事項  
1 地域公共交通について

① 五條市地域公共交通網形成計画について

② 高齢者・福祉との連携した政策について



## Q: 災害弱者支援対策について

A: 個別計画の策定に向け関係機関と協議していく。

窪 佳秀議員

### 災害弱者支援対策について

**窪** 災害時に自力で避難できない人の支援対策について伺う。

### 危機管理監

本市避難支援計画に基づき避難行動要支援者名簿のデータを整備し順次更新し、消防署に提供。必要により有事の際には警察にも台帳を提供できる体制を整えている。

**窪** 計画に基づくデータの提供だけでは不十分である。災害発生前に自力で避難できない人たち一人ひとりの個別計画が必要である。

また、自力で避難できない人を支援する支援者を事前に決めておく必要があるが、考えを伺う。

### 危機管理監

個別計画は平常時から、要支援者に対してどのような支援が必要かどうかのようなルートで避難場所へ避難させるのか等支援者一人ひとりに応じた支援計画が必要であり、福祉部局を始め関係機関と協議を

進めていく。支援する人たちについても地区自治会、自主防災組織等の協力を得ながら進めていく。



### 窪

支援する計画には、平常時における支援対策・災害発生時における支援対策が必要である。市内の自治会で既に対策を行っているところもある。行政が主導し一歩一歩進めていく必要があるが考えを伺う。

### 危機管理監

地域において共助に取り組んでいただきき心強く思う。市も各取組にタイアップするとともに、支援ガイドライン等を参考に行政としてアドバイス・指導の支援をしながら関係機関との協議を積み重ね、まず個別計画の策定を行ってまいらる。

### 新市営墓地建設について

**窪** 新市営墓地建設の進捗状況について伺う。

### 産業環境部長

市が計画していた牧野地区の墓地建設予定地において平成29年3月末に測量・ボーリング調査・墓地本体及びその周辺整備の基本構想策定業務の委託契約を行い、4月中旬から5月中旬にボーリング調査を実施した結果、ほとんどが盛り土で地下に水脈があり地盤が軟弱なため、墓地の建設には適さないことが判明し、総合的に判断した結果、当該地における新市営墓地の建設は中止となった。

### 窪

地元では、市からの候補地の提案により墓地検討委員会を立ち上げ数十回の会合を行い協議してきた。多大な時間と、浪費を費やした地元に対する説明会の実施について伺う。

### 産業環境部長

地元とは、平成26年5月から平成29年

4月まで墓地の建設に向けて協議を行ってきた。今回の中止に伴う説明会を墓地検討委員会・地区自治連合会に説明を行うとともに、単位自治会に回覧文書も依頼しご理解をいただいた。

### 副市長

地元において数十回の会合を開催し、今回のボーリング調査の結果により中止をせざるを得なくなつたことに対し申し訳なく思う。新墓地建設はどうしても必要な事業であることから今後ともご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

**窪** 今後の墓地建設について伺う。

### 産業環境部長

新市営墓地建設は必要な公共施設である。需要予測を調査したところ墓地6〜700基程度で計画していく。今後、適地を選定し、今回の経験を生かし関係自治会や関係機関などのご理解を得ながら進めていく。